

生徒の皆さんへ  
保護者の皆様へ

横浜創英中学・高等学校  
校長 工藤 勇一

## 部活動他、授業以外の諸活動の再開について（R2.6.8時点）

皆様には新型コロナウイルス対応につきましてご理解ご協力いただきましてありがとうございます。

5月25日、緊急事態宣言が解除され、社会全体で徐々に様々な活動が再開され始めましたが、予防ワクチンと治療薬が開発されるまでは、それぞれが感染防止の意識を一層高く持ちながら生活をしていくしかない状況が続いています。

本校におきましても6月1日より分散登校が始まり、生徒たちの元気な姿を見ることができ安心いたしました。改めて完全再開に向けて感染防止に対する意識を高めていかねばならないと職員一同気を引き締めているところです。

部活動についてはインターハイや各種大会が中止になるなど、生徒たちが目標の一つに掲げていたものがなくなってしまったことは、私たちも残念でなりません。そうした中でも前向きな気持ちを持ちながら、元気に振る舞ってくれる生徒たちに、私たち大人が逆に励まされているところです。

現在、一部生徒たちや保護者の方々からは、部活動を少しでも行わせてもらえないかという要望がきています。その一方で、行わせてあげたい気持ちは山々だが、完全再開するにはまだまだ心配だからもう少し待ってほしいというお声もいただいています。私どもはその両方のお声に答えながら、どのように再開すべきか、時期や方法について様々な検討を重ねてまいりました。現時点での再開に向けた今後の方向性についてまとめましたので、お伝えいたします。

## 再開までの今後の方向性

部活動、その他再開を希望する活動については、今後も神奈川県の新型コロナウィルスの感染状況に大きな変化が見られない場合、6月中旬から放課後における短時間の準備活動を開始し、6月下旬から段階的再開を許可する予定です。

ただし、一部大会を控えた体育部等については、6月12日(金)より希望する高校2・3年生(ただし、それぞれの保護者が賛同していること)に限り、可能なかぎりの感染防止対策と怪我防止対策を徹底した上で、活動再開に向けた準備活動を認めていきたいと考えています。どの活動を許可するかについては、活動の性質や屋外や室内といった活動場所によって感染防止のリスクが異なるため、それぞれの状況に応じて判断してまいります。

なお、部活動等の再開にあたっては、参加を強制するものではありません。ウィルス感染に対する不安は個人それぞれによっても異なりますし、ご高齢の方や持病を抱えたご家族の状況によっても異なります。参加を希望しない生徒や迷っている生徒に参加を強制したり、批判したりすることがないように、それぞれが互いの違いを認め合い、理解し合い、活動に臨んでほしいと思います。言うまでもなく、活動を再開することは、これまでの各家庭で自粛してきた状況とは異なり、感染リスクは確実に高まります。それぞれが当事者意識を一層高く持ってほしいと思います。

職員一同、活動再開に当たりましては、今まで以上に細心の注意を払って監督してまいります。お気づきのことなどありましたら、遠慮することなく、随時、学校までお声掛けください。

具体的な部活動等の実施時期については、6月10日(水)にホームページ上でお知らせします。